

「法令等遵守および態勢整備についての勉強会」の実施について

大東建託グループの少額短期保険ハウスガード株式会社（代表取締役社長：白井 孝和、所在地：東京都港区）は、社会からの信頼こそが保険事業の根幹であると考え、法令等遵守（コンプライアンス）および態勢整備の高度化に向け、「勉強会」を実施しました。

本勉強会では、全参加者が個人ワークおよびグループワークを通じて課題に取り組み、その成果を講師（弁護士 和久田先生）を招いた発表会にて発表しました。本誌では、その取り組みの様子と成果について、ご紹介いたします。

1. 勉強会の目的

- 1) 契約者保護の徹底
- 2) 組織全体のコンプライアンス意識の向上
- 3) 不祥事の未然防止と再発防止
- 4) 全社的な態勢整備の理解と実践

2. 実施期間・発表会

- 1) 個人ワーク（3月4日～3月10日）
- 2) グループワーク（3月11日～3月18日）
- 3) 発表会

日 時：2026年3月25日（木）11:00～12:00

場 所：東京都港区港南2-16-1

少額短期保険ハウスガード株式会社 本社 事務所内

3. 参加者

社員（臨時従業員、派遣社員を含む）計22名

4. 講師

T&T パートナーズ法律事務所

弁護士：和久田 玲子 先生

5. 勉強会風景

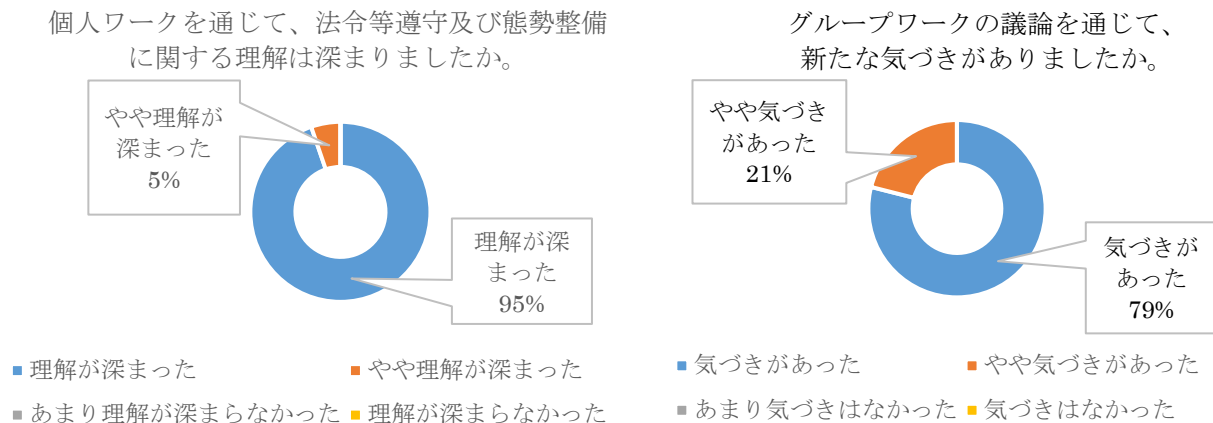


6. 講師（弁護士 和久田先生）による講評

発表会では弁護士である和久田先生から、各グループの発表に対して専門家の視点および過去の損害保険会社での実務経験を交えて講評をいただきました。多くの参加者にとって「保険会社はお客様の未来の安心を預かる存在であり、信頼と誠実さが業務の根幹である」という点が、最も大きな学びとして共通していました。

7. 参加者の反応（アンケート）

勉強会実施後のアンケートでは、参加者の多くから、法令等遵守および態勢整備について「理解が深まった」「新たな気づきがあった」など勉強会の成果を実感できる回答が多数寄せられました。



今回の勉強会に参加しての感想（抜粋）

- お客様の安心や期待を裏切ってはならないと改めて強く感じた。
- 保険会社は信用が最も重要であり、日々の業務の積み重ねが信頼に繋がることを再認識した。
- 代理店・契約者との関係は「信頼」を前提に成り立っていることを再認識した。
- お客様の未来の安心を預かるのが保険会社であることを再認識した。
- 自身の業務が本当にお客様の安心につながっているか、常に立ち返る必要があると感じた。
- 当事者意識と問題意識を持つことの重要性を改めて認識した。
- お客様からの期待を受け、安心を預かっている立場であることを再認識した。
- お客様の信頼を失わないよう、誠意をもって公正に顧客本位の対応をします。

8. 今年度実施した研修及び今後について

当社では、少額短期保険事業に関連する専門性の高い内容や、業務の前後・背景にある論点を取り上げ、研修や勉強会を実施しています。今年度は、今回の勉強会に加え、再保険研修（全3回）、障がいのある方を講師に招いて合理的配慮について理解を深める「ふれあい講習会」、保険業務に関するコンプライアンス研修を実施いたしました。今後も引き続き、研修や勉強会を通じて社員一人ひとりのスキル向上に努め、その成果をお客様に提供するサービスの向上につなげてまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
少額短期保険ハウスガード株式会社
TEL：03-6718-9240